

平成30年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2234

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B1	刑事警察費		一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	刑事警察活動費	
事業期間	昭和29年度～	根拠法令	警察法第2条		宣言項目			
					分野施策	020410 防犯対策の推進と捜査活動の強化		
1 事業概要			5 事業説明					
捜査用装備資機材等の充実を図る。 (1) 捜査活動経費 (2) 捜査資機材の整備 (3) サイバー犯罪対処能力の強化資機材 (4) 直轄警察犬指導士の育成経費 (5) 指紋自動識別システム経費 (6) 自動車ナンバー自動読取システム維持経費 (7) 指定通訳官等養成経費 (8) 民間通訳人関係経費 (9) 重要犯罪等捜査支援システムの整備 (10) 捜査力強化資機材の整備 (11) 高度分析システムの整備 (12) PSDによる自転車照会システム構築経費			(1) 事業内容 ア 捜査活動経費 捜査活動に対する報償費、旅費、捜査上不可欠な消耗品、民間車両借上料等 196,966千円 イ 捜査資機材の整備 363,758千円 ウ 現場活動に必要な資機材や鑑定・検視業務に使用する試薬類の購入経費及び機器検査委託料等 エ サイバー犯罪捜査能力の強化資機材 解析資機材等の借上料 26,075千円 オ 直轄警察犬指導士の育成経費 直轄警察犬制度の導入に向け、指導士を育成するための経費 120千円 カ 指紋自動識別システム経費 機器の借上げ料及び消耗品 114,976千円 キ 自動車ナンバー自動読取システム維持経費 324,709千円 ク システム維持管理のための電気料、回線使用料、委託料及び機器借上料 ケ 指定通訳官等養成経費 指定通訳官等の語学力のスキルアップを図るための研修委託経費 9,708千円 コ 民間通訳人関係経費 外国人犯罪捜査に伴う民間通訳人に対する通訳料等 34,154千円 サ 重要犯罪等捜査支援システムの整備 システム維持管理のための電気料、回線使用料等 229,470千円 シ 捜査力強化資機材の整備 94,016千円 捜査力強化のためのよう撃秘匿監視カメラ、画像解析システムの借上料等 高度分析システムの整備 事件分析力を強化するシステムの開発委託料等 447,190千円 PSDによる自転車照会システム構築経費 3,806千円 警察官が携帯するデータ端末により現場で容易に自転車照会を実施可能にするシステムの構築経費					
2 事業主体及び負担区分 (国5/10・県5/10)、(県10/10)			(2) 事業計画 捜査環境の整備強化、捜査用資機材等の適性な維持管理を図る。					
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 警察費 (細目) 警察活動費 (細節) 刑事警察費 (積算内容) 都道府県警察費補助金対象経費			(3) 事業効果 犯罪の広域化、巧妙化の進展等、捜査を取り巻く環境の悪化に、迅速かつ的確に対応し、県民生活の安全な生活と平穏を確保することで、県民の期待と信頼に応える。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	1,844,948	国庫支出金					1,698,116	595,262
前年額	1,249,686						1,078,940	